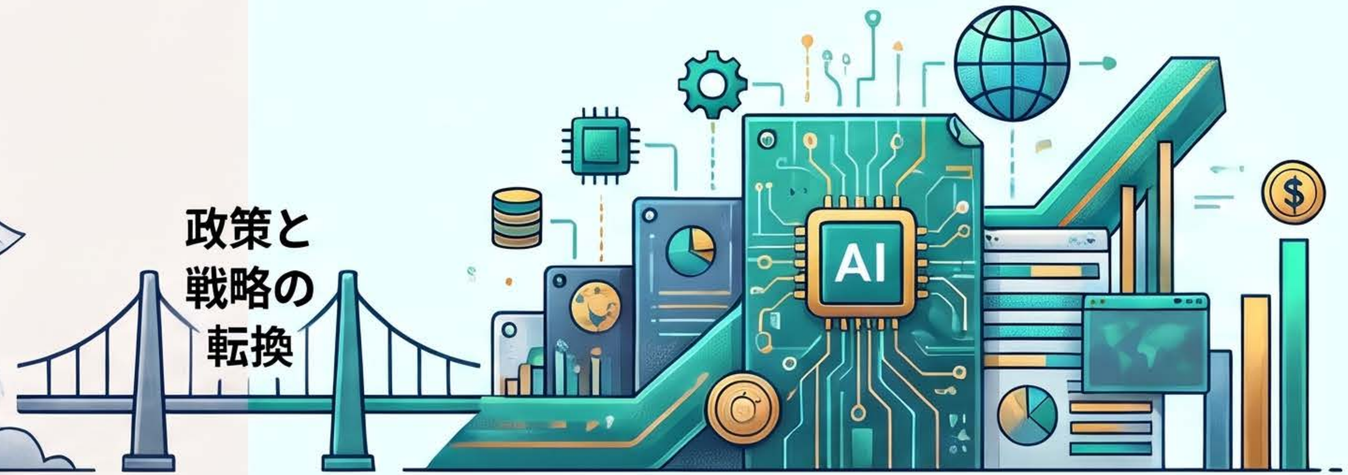
中国特許の真実：「量のバブル淘汰」と「先端技術の先鋭化」

質的転換：補助金全廃と粗悪出願の淘法



政策と
戦略の
転換

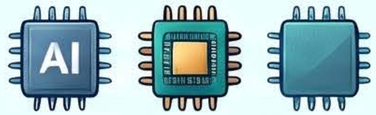
PCT国際特許出願で世界首位を維持（米国の1.4倍）





PCT国際特許出願で世界首位を維持

2025年は7万3,718件に遅し、減少傾向の日を引き越して拡大。



重要技術の「画期的特許」数で米国に迫る世界2位

AI・半導体・量子分野で台頭し、特に半導体領域では世界首位を記録。



国際IPロイヤルティ受取額が10年間で約10倍に拡大

2024年に101.3億ドルへ急増し、EV電池やバイオ創薬で欧米へ技術供与。

重要3分野（2019～2023年）の画期的新規性特許数の比較

技術分野	米国（件数）	中国（件数）
人工知能（AI）	1,852件	1,252件
半導体	1,129件	1,524件
量子コンピューティング	222件	116件



スマート審査により年間100万件超の不正出願を撤回

AI識別システムを導入し、テンプレート型の粗悪・水増し出願を排除。



本物のR&Dを示す「国内発明特許出願」は前年比6.2%増

補助金バブル崩壊後も、企業の研究開発投資に基づく本質的な出願は堅調。

2025年の専利登録（授権）総数が前年比16.18%減少

補助金全廃と審査破格化により、実用新案を中心に約60万件が宏汰。

Gemini Notebook